

土地利用に関する事例調査候補先（詳細） NO. 1

地域政策課特定地域係

機能	公園・広場	公園・広場	医療機能	スポーツ機能	スポーツ機能
施設名	岡山操車場跡地公園 － 岡山県岡山市 －	ちゅうわ 忠和公園 － 北海道旭川市 －	すいこう 水高スクエア (旧国立水戸病院跡地) － 茨城県水戸市 －	東北電力ビッグスワンスタジアム (新潟スタジアム) － 新潟県新潟市 －	茨城県立カシマサッカー スタジアム － 茨城県鹿嶋市 －
構成施設	<ul style="list-style-type: none"> 岡山ドーム (軟式野球、ソフトボール) スポーツパーク 多目的広場 芝生広場 	<ul style="list-style-type: none"> 体育館 多目的広場 遊具広場 ジョギングコース パークゴルフ場 	<ul style="list-style-type: none"> 病院 医療専門学校 保育園 特別養護老人ホーム フィットネスクラブ (予定) 	<ul style="list-style-type: none"> サッカー陸上兼用スタジアム 陸上競技場 多目的運動広場 公園 	<ul style="list-style-type: none"> サッカースタジアム サッカーミュージアム
面積	【敷地面積】 15.4ha	【敷地面積】 15.5ha	【敷地面積】 約4.35ha	【敷地面積】 48.0ha 【建築面積】 3.7ha	【敷地面積】 10.7ha 【建築面積】 3.1ha
完成 (竣工)	平成15年	平成13年	平成20年	平成13年	平成5年 平成13年改修
設置者	岡山市	旭川市	北水会グループ (県からの譲渡)	新潟県	茨城県
管理者	【指定管理者】 (財)岡山市公園協会	【指定管理者】 (財)旭川市公園緑地協会	〃	【指定管理者】 (株)アルビレックス新潟 (財)都市緑花センターグループ	【指定管理者】 (株)鹿島アントラーズ・エフ・シー
従前施設 (土地所有)	日本国有鉄道清算事業団から土地 を取得		水戸医療センター (旧国立水戸 病院) の移転に伴い、跡地を県 が所有		ト伝の郷運動公園 (市所有)
交通アクセス	J R 「北長瀬」 駅より徒歩10分 (駐車場 1,090台)	函館本線「近文」 駅より1. 2 km (駐車場 有)	J R 「水戸」 駅から車で20分 (駐車場 有)	J R 「新潟」 駅よりシャトルバス約 15分 (駐車場 3,110台)	J R 「カシマサッカースタジアム 駅」より徒歩2分 (駐車場 2,700台)
事業概要等	<p>☆整備構想(案)</p> <p>①優れた交通利便性を活かし、国際都市にふさわしい施設を整備</p> <p>②3分割して段階的な整備を図る</p> <p>③最終形は長期的に検討</p>	<p>☆コンセプト</p> <p>市の健康都市宣言を基に、競技型ではなく、基礎体力の維持増進、健康管理を行うための健康運動公園として整備</p> <p>●体育館では、保健師が体力チェックや健康相談に応じる</p>	<p>☆コンセプト</p> <p>医療や健康増進、介護、福祉機能のほか、地域交流の活性化につながる場の提供を目的とした医療福祉複合施設</p>	<p>●【事業費】約300億円</p> <p>●【経済効果推計】</p> <p>直接効果：14億円</p> <p>波及効果：21億円 (政策投資銀行調査)</p> <p>31億円 (県調査)</p> <p>※参考 日本政策投資銀行の2003年シーズンを想定した試算、新潟県産業連関表</p> <p>●チーム本体は黒字を維持しているが、スタジアムに関しては赤字が続いている。</p>	<p>●【事業費】</p> <p>・第1期事業費 97.8億円</p> <p>・改修事業費 233.8億円</p> <p>→ W杯開催(H14)に向け、収容人数を15,000人から40,000人規模へ改修</p> <p>●【収支状況】</p> <p>=使用量収入－委託料</p> <p>平成17年 ▲1.03億円</p> <p>平成16年 ▲1.29億円</p> <p>平成15年 ▲1.30億円</p>
参考ポイント	○具体的に施設建設が行われるまでの5年間、一部を広場として暫定利用	○10か年計画で整備		○鳥屋野潟南部開発(約270ha)の一面(新潟県スポーツ公園内)に建設	○収容人数は約42,300人
				○新潟市も管理料の一部を負担	